



れいわ新選組 **小林 透**
安全な通学路の確保を 7



問 児童や生徒が安全に登下校できるように通学路の安全対策に市としてどのように取り組んでいく考えなのか伺いたい。

答 市民部長 児童生徒が安全に通学できるよう、学校や警察をはじめとした関係機関と十分な連携を図りながら、交通指導員の適切な配置、交通安全施設の迅速な整備、学校で実施している交通安全教室などを通じて、児童生徒が交通事故に遭わないよう、引き続き交通安全対策について取り組んでいく。



☞ 斎場の運用

☞ 通学路における安全確保



公明党 **嶋田 弘二**
学校の諸課題について 9



問 起立性調節障害の症状により不登校になる割合も多いため、児童生徒に対する学校の対応について伺う。

答 学校教育部長 学校では、医療機関で起立性調節障害と診断された児童生徒、その保護者からの申し出を基に、児童生徒の体調を最優先にした対応に努めており、児童生徒の体調と状況に応じて、遅刻、欠席、早退を認めている。

また、養護教諭、スクールカウンセラー、さわやか相談員等と連携し、保健室やさわやか相談室において、本人の心身の悩みを聞きながら、個別の健康相談や教育相談を行い、保健面・心理面からの支援をしている。

☞ 学校の諸課題

☞ カスタマーハラスメント



公明党 **鈴木 謙一郎**
本市のPFI事業について 11



問 民間企業にとっても、地域や市の発展に貢献しながら利益を出していける事業が理想と考えるが、今後のPFIの活用について本市の見解を伺う。

答 総合政策部長 今後のPFIの活用については、厳しい財政状況の下、より良いサービスを提供するため、また、今後多くの公共施設等が老朽化による更新時期を迎える中で、公共施設等の整備を進めるためには、行政が担うべき役割を整理した上で、民間の創意工夫によって効率的・効果的に公共サービスの提供が見込める事業について、積極的に民間企業との連携を図っていく必要があるものと考えている。

☞ PFI事業



日本維新の会 **柳沢 貴雄**
市役所窓口対応の改善を！ 8



問 冷たい窓口対応や、役所内をたらい回しにされた市民から相談を受けているが、職員の接遇について、どのような認識を持っているのかを問う。

答 総務部長 市役所や市の施設にさまざまな手続きなどに訪れた人に満足してもらうためには、接遇は大変重要であると認識している。職員の接遇については、職場研修等で繰り返し学ぶ機会を確保するとともに、マニュアルを作成し、適切な業務上の対応はもとより、身だしなみ、あいさつ、態度、言葉遣いを適切にするよう心がけることとしている。来庁者の意見等も踏まえ、日々の業務や研修等を通じて接遇のさらなる向上に取り組む。

☞ 職員の労働環境



公明党 **須藤 直樹**
視覚障がい者の安全確保を 10



問 市として、歩行環境の不具合、不足箇所等の総点検実施を提案する。視覚障がい者の歩行環境において、今後、どのように安全を確保していくのか市の考えを伺う。

答 建設部長 視覚障害者に安全安心に道路を利用してもらうには、視覚障害者のニーズや危険箇所などを詳細に把握することが重要であると認識している。その上で、現地の状況に応じて、誘導ブロックや防護柵等の設置、段差解消、歩道の拡幅など必要な対策を検討していく。今後も引き続き、障害者団体などの関係機関と連携し、視覚障害者の安全確保に努めていく。

☞ 防災減災対策

☞ 視覚障害者の安全確保



公明党 **中村 文明**
週休2日制モデル工事対応 12



問 令和6年度より労働基準法の改正が建設業へ適用される中、週休2日制モデル工事への対応について市の考えを伺いたい。

答 宮本副市長 本市では、建設業界の担い手確保に向けた働き方改革を推進する観点から、令和2年度より週休2日制モデル工事の実施に取り組んできた。労働基準法の時間外労働の上限規制が令和6年度から適用となり、労働時間の見直しは建設業界の重要な課題であると認識している。週休2日制モデル工事を推進・拡大していくことは、長時間労働の縮減が期待でき、将来の若手技能者等の担い手の確保や育成につながるものと考えている。

☞ 公共工事等の諸課題

☞ 子どもたちの歯の健康